

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
昭和56年10月5日 第25報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece clathrata</i> *	60		
(藍) <i>Chroococcus dispersus</i> *	40		
(藍) <i>Lyngbya sp.*</i>	40		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	300		
(珪) <i>Melosira granulata var. angustissima</i>	160		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	60		
(珪) <i>Nitzschia sp.</i>	20		
(渦) <i>Ceratium hirundinella</i>	20		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	80		
(緑) <i>Gloeocystis sp.</i>	320		
(緑) <i>Planktosphaeria gelatinosa</i>	240		
(緑) <i>Oocystis sp.</i>	240		
(緑) <i>Schroederia sp.</i>	20		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	7040	◎	○
(緑) <i>Closterium aciculare var. subprorum</i>	20		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	360	○	◎
(緑) <i>Staurastrum sp.</i>	20		
(藍) 藍藻綱	140	1.5	0.3
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	540	6.0	2.5
(渦) 渦鞭毛藻綱	20	0.2	2.9
(褐) 褐色鞭毛藻綱	80	0.9	0.7
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	8260	91.4	93.6
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	9040	総体積 (μm^3)	2.07E+07
種類数	17		

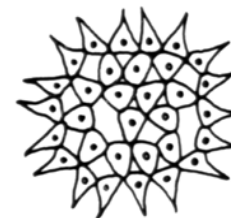
- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし * 印の種は群体数(群体/ml)
注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	7040

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	360

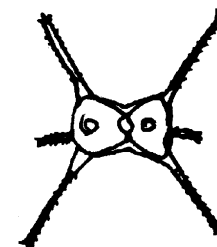
植物プランクトン第1優占種



Pediastrum biwae
(ピワクンショウモ)
緑藻綱

16、32、64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。

植物プランクトン第2優占種



***Staurastrum dorsidentiferum*
var. *ornatum***
(スタウラスツルム)
緑藻綱

ツツミモの仲間に関する大型のプランクトンで、細胞の中間がくびれている。横から見ると、4本の腕が出ているように見える。上から見ると3本の腕が出ているように見える。